



おかし
昔を
つたえるもの

昔をつたえるもの

さくらさんの学区内には昔をつたえるものがあります。



「わたしの家の近くには、頭がかえるのようにつくられた石のとうがあります。近くの人たちは『おかかさま』とか『ぎょうだいさま』とよんでいます。蒲生1丁目旧国道ぞいに今もあります。

近くのおじさんの話



「ぎょうだいさま」は正しくは『砂利道供養塔』というんだよ。昔、じゃりを運んで道をつくったので、その苦勞に対してつくられたとか、旅の無事をねがってつくられたとかいわれているんだ。今でもわらじをそなえていく人がいるんだよ。

しら調べること

- 神社やお寺
- 地名の由来
- お祭りや行事
- 庚申塚や石ひなど

しら調べる方法

- グループをつくって見学する。
- 家の人、地いきのお年よりなどに話を聞く
- 市役所、図書館の係の人にたずねてみる。
- 見学カードに調べたことをまとめる。



砂利道供養塔

地名にのこる昔のこしがや

そうたさんたちは、綾瀬川の近くで、「大間野町」という地名を見つけました。



「どうしてこの辺りの地いきを『大間野町』というのかな。」



「たしか『出羽小学校』という名前の小学校もあったね。どうしてそんな名前がついているのかな。地いきにくわしい先生に聞いてみよう。」

地名の由来(いわれ)を調べてみましょう。



砂利道供養塔

越谷市の地名の由来

越谷 (越ヶ谷)	こしは「腰」ともかかれ、山や丘などのふもとをさす。やはしめった土地などの低い土地をさす。だから、越谷は「台地のふもとにある低地」という意味。昔は「腰ヶ谷」ともかいていた。
大沢	昔はしめった土地で、池や沼などが17こもあったことから「大きな沢」「大沢」とよばれるようになった。
新方	①もともと埼玉県でなくほかの地いきだったのが、とちゅうから埼玉県になったので、「新しい方」ということで「新方」とよばれるようになった。 ②この地いきはもともと海で、海の水が引いて海の底が土地になった(干潟)。新しい干潟ということで「新潟」となり、「新方」に変化した。
平方	川にはさまれた土地で、川や土や砂が運ばれて平な土地ができたことから。
増林	林が多い土地だったから。
花田	この土地の近くの元荒川が天狗の鼻のように曲がっていたことから。もともとは「鼻田」とよばれていた。
出羽	この地いきを一番に開発した「会田出羽」という豪族(土地や財産をたくさん持っている人びと)をたたえて「出羽」という名前にした。
荻島	元荒川べりの荻(水辺に生える植物)のしげった耕地(作物の育つ地)だったことから。
大間野	大きな耕地の間にある住たく地だったことから。

参考：越谷市制施行50周年記念誌

ものしり先生の話

地名には、土地の様子やれきしをしめすものが多く、越谷市では川とのむすびつきで地名がつけられているところが多いそうです。また、深田、土浮、沼ノ方、戸井など、土地の低さをしめすような地名も多くあります。これも、越谷の地形の様子を表していると考えられます。しかし、地名の由来(いわれ)はかならずしもその通りだったといえないものもあります。最近では、時代の変化の中で古い地名がしだいにわすれさられてしまうのが、すこしさみしいですね。





田んぼの中の道を歩く

昔からつづく行事

さくらさんたちは、地いきにつたわっている行事の中で「虫追い」について調べることにしました。



「虫追いは、わらに火をつけて、田んぼの中をみんなで歩くんだね。」



「けむりがたくさん出ているね。どうしてこんなことをしているのかな。」



道を歩く人びと



川崎神社

さくらさんたちは、行事を運びいしている、地いきの自治会長さんに聞いてみることにしました。

自治会長さんの話



江戸時代の終わりころ、天こうが悪い年があり、稲に大りょうの虫がついてしまったそうです。

そこで、虫を引きよせて追いはらうために、麦わらでつくったたいまつをもやしながら田んぼをまわって歩いたところ、豊作になったそうです。

そのよく年からげんざいまで、豊作をいのる年中行事として毎年7月24日に川崎神社で行われています。

虫追いについて調べました。

虫追いは、火をつけるたいまつづくりから始まります。昔は麦わらを使いましたが、げんざいは、いなわらを使います。いなわらをたばにしてたいまつにし、ひもでむすんでおきます。

虫追いの当日は、神社でたいまつに火をつけ、かけ声をかけながら、田んぼのまわりの道を歩きます。たいまつのできむりで虫を追いはらい、いねの豊作をねがっているそうです。

虫追いは、地いきの人びとのど力でも今も受けつがれています。



「地いきの行事には、人々の思いやねがいがかめられているんだね。埼玉県内で虫追いが、げんざいまでつづいているのはここだけなんだそうだよ。」



たいまつづくり



立てかけてあるたいまつ



ほうさく あんぜん けんこう ぎょうじ
豊作、安全、健康をいのるふるさとの行事

市内で行われている代表的な行事は「虫追い」のほかにもいくつかあります。

「オビシャ」は毎年1月にその年の豊作をいのって、弓矢で的をいる習わしです。

「節分祭」は毎年2月3日に大相模地区の大聖寺で行われます。人びとの健康や安全をねがって、鬼追いや豆まきが行われます。



北川崎の虫追い



越ヶ谷久伊豆神社の秋祭り



下間久里のししまい



川崎神社のオビシャ



大相模・大聖寺の節分祭

さくらさんたちは、越谷市で昔から大切に、ほぞんされているものを調べました。そして調べたことを、越谷市の地図にまとめてみました。

自分たちの住む地区にも、祭りや行事が行われているのか調べてみよう。



越谷市 昔からほぞんされてきたもの

